

ESGに重点を置いた経営

④ 真のグローバル企業へ

シャープでは、海外事業の拡大に向け、海外各地域における販売戦略の強化を進めるとともに、グローバル視点での経営改革を推進します。

これに向け、「グローバル人材の育成強化」「人材管理の仕組みの整備」を進めるとともに、「本社部門の海外支援機能の強化」「海外企業との協業/M&Aの加速」「コーポレートブランディングの強化」などに取り組んでいきます。

加えて、「最先端技術を搭載した新製品のグローバル同時展開」「各地域の生活に根差した商品やサービスの強化」も進め、海外各地域におけるシャープのブランド力向上を図っていきます。

また、2022年7月には、海外各地域代表を束ねる「海外統轄本部」を設置し、グローバル事業拡大を牽引する体制としています。

人材	組織/機能	商品/サービス
- 社員の 英語力 の大幅向上 - 海外における 人材管理 の強化及び 優秀人材 の獲得 - 企業理念 のグローバル浸透	- 本社部門の 海外支援機能 の強化 - 海外企業との協業/M&A の加速 - コーポレートブランディングの強化(国内/海外)	- 最先端技術を搭載した新製品のグローバル同時展開 - 各地域の生活に根差した商品/サービス開発の強化

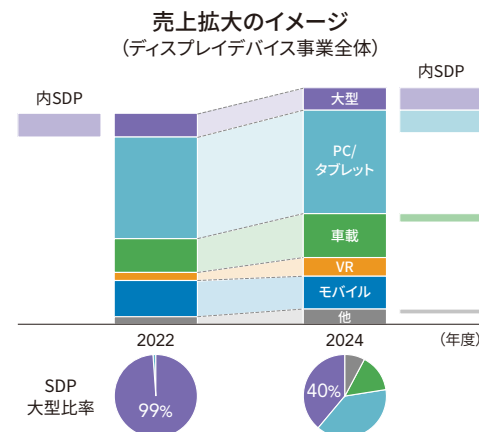
堺ディスプレイプロダクト株式会社の完全子会社化

堺ディスプレイプロダクト株式会社 (SDP) の完全子会社化は、「テレビ事業・業務用ディスプレイ事業における高品位パネルの安定的かつ優位性のある調達」や「ディスプレイデバイス事業のアプリケーション拡大や生産能力向上、将来の競争力強化」に繋がること、「中国以外にある唯一の第10世代以上の大型液晶パネル工場で、米中貿易摩擦の状況を踏まえると、北米市場向けのパネル供給で優位性があること」などを総合的に判断し、決定しました。

今後、シャープのディスプレイ事業は、PC向けや車載向け、VR向けパネルを中心に、事業拡大に取り組みます。

SDPでは、高い技術力・コスト力・大型パネル生産における優位性などを活かし、収益の改善と業績の安定化を図ります。具体的には、需要変動の激しいテレビ向けから、PC向け・車載向けパネルへのシフトを進めます。

また、将来を見据えた新規自発光ディスプレイの開発などにも積極的に取り組みます。



完全子会社化の狙い

①

テレビ事業及び
業務用ディスプレイ事業における
高品位パネルの安定的
かつ優位性のある調達

②

ディスプレイデバイス事業の
アプリケーションの拡大や
生産能力の向上、
将来の競争力強化

③

米中貿易摩擦を背景とした
米州市場向けの
パネル供給における
優位性